

11月9日(土)～15日(金)

秋の火災予防運動 高めよう、地域の防災力

町田市内で2012年に発生した火災の原因として、最も多かったのは放火の45件で、以下、ガステーブル12件、たばこ11件の順でした。

放火による火災は、今年も多く、9月末までに35件発生しています。

放火火災を防ぐため、放火されない環境づくりを心掛けるとともに、いざという時のために、自治会・町内会等が実施する防災訓練に参加し、

消火器やスタンドパイプ(道路にある消火栓等に差し込んでホースをつなぎ、放水を行う消火資器材)の使用方法などを学んでおきましょう。

町田消防署では、秋の火災予防運動の一環として、消防演習等を実施します。

消防演習
日 11月11日(月) 午後3時～4時



スタンドパイプ訓練の様子

町田消防署

防火のこころを落語

日 11月12日(火) 午後2時30分～3時30分

場和光大学ポプリホール鶴川・ホール

出演 三遊亭歌武蔵

※いずれも直接会場へお問い合わせ。落語は先着順です。

町田消防署 ☎722-0119、町田市防災安全課 ☎724-3218 FAX 050-3085-6519

町田市版事業仕分け 今後の対応が 決まりました

市では、3回目となる「町田市版事業仕分け」を5月12日に実施しました。

仕分け後、当日いただいた意見や話し合いの中から気づいた課題について検討し、改善プログラムを策定しました。下表はそのうちの主な取り組みです。

町田市版事業仕分け結果を踏まえた、市の今後の主な対応

事業名	今後の主な対応
市営住宅費	市営住宅使用料に係る滞納整理事務処理要領を改正し、未収金に対する事務の適正化を図ります。
高齢者住宅管理運営事業	生活協力員が高齢者住宅入居者の安全確認や日常生活相談を効果的に行えるよう、生活協力員、高齢者支援センター、ケアマネジャー間の連絡体制を強化します。
収納事務費	先進市の有効な取り組み等を積極的に導入し、徴税手法の改善に取り組み、同規模自治体16団体が1位を目指します。
自転車駐車場費	市として優先的に自転車駐車場を整備する必要がある場所を見極め、その情報を民間事業者に提供します。
学校用務作業班設置事業	学校用務業務に係る職員配置及び業務の進め方について見直しを行います。
教育センター費	保護者が教育上の問題で困ったとき、必要なときにどこへ相談すればよいかをすぐわかるように工夫し、教育相談の仕組みや内容について周知します。
南市民センター費	地域住民の文化・コミュニティ・福祉の増進の「場」として、地域センターが有効に活用されるよう、業務のあり方・執行のあり方等について検討します。
地域コミュニティバス運行事業	事業採算性を見ながら、地域組織、バス事業者、行政の三者で協議を行い、新たなルールづくりを検討します。
普及促進事業(下水道)	公共下水道へ未接続の建物に対して、個別に普及促進方法を検討し、効果的な普及促進を行います。
自由民権資料館事業費	自由民権資料館事業の実施にあたっては、市民協働による企画展の開催を行います。
廃棄物減量再資源化推進費	地域資源回収の参加者が、リサイクルに貢献していること、またその活動が地域に還元されていることを実感することで、今まで以上に活動が推進される状態を目指します。
維持管理費(下水道)	耐用年数が経過した下水道管の点検方法を含め、新しい技術や他市の点検方法を参考に評価します。

町田市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の改正(案) ご意見ありがとうございました

市では、「町田市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例」の改正にあたり、皆さんのご意見を募集しました。実施結果の概要は以下のとおりです。貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。いただいたご意見は、条例改正の参考にさせていただきます。

- 募集期間 7月11日～8月9日
 - 応募者数 1人
 - 意見件数 2件
- ご意見の概要と市の考え方を紹介します。詳細は町田市ホームページでご覧いただけます。また、資料を、建築開発審査課(市役所本庁舎8階)のほか、次の窓口でも配布します。
- 都市政策課(市役所本庁舎8階)、市政情報課・市民相談室(市役所本庁舎1階)、各市民センター、各駅前連絡所、木曽山崎・玉川学園の各コミュニティセンター、各市立図書館、町田市民文学館、生涯学習センター、男女平等推進センター

ご意見の概要	市の考え方
土砂等とは何を意味するのか明確にすべきである。	本条例で既に定義されております。なお、今回の改正では変更いたしません。
国や地方公共団体が行う土砂等の埋立て等を条例の適用除外するのであれば、検証する予算措置を取るべきである。	国や地方公共団体が行う土砂等の埋立て等は、関係法令等に準って適正に処理していますので、それを検証するための予算措置は必要ないと考えます。

コンピュータで処理されている項目を公表します

市では、市民サービスの向上と庁内事務の効率化のため、コンピュータシステムの開発・導入を進めています。

コンピュータで処理されている項目の公表は、市の個人情報保護制度の趣旨に沿って、どのような情報がコンピュータ処理されているか、お知らせするものです。市では、業務に必要な項目を個人情報登録簿で管理し、必要な職員に限定してコンピュータ処理を行っています。

新規導入及び更改したシステム(2012年度)

システム名	概要	担当課
新規 セキュアプリントシステム	「情報漏えいリスクの軽減」「執務スペースの有効活用」「紙利用の抑制」のため、個人認証を備えた複合機を用い、プリンタ及びコピー機を集約したシステム	総務課 ☎724-2104 FAX 050-3085-3139
新規 税総合システム(事業所税)	事業所税の課税管理を行うシステム	資産税課 ☎724-2118 FAX 050-3085-6094
更改 メール配信システム	市内の「不審者・犯罪情報」「防災情報」「気象・地震情報」「子育て情報」「広報情報」「学校教育情報」などをメールで配信するシステム	広報課 ☎724-2101 FAX 724-1171

724-8407 FAX 050-3085-3142

NHKにっぽん縦断 こころ旅 お手紙募集



NHK-BSプレミアムで放送中の「こころ旅」は、俳優の火野正平さんが北海道を出発し、愛知県まで自転車旅をする番組です。

この旅のルートは、皆さんからのお手紙で決定するため、市内の「忘れられない場所、風景」にまつわる手紙を募集しています。手紙が採用されれば、火野さんが町田市を訪れます。

障がいのある方を支援するヘルプカードを配布します

ヘルプカードは、身体障がいや知的障がい、精神障がい、難病など、障がいのある方が、緊急時や日常生活の中で困った時に、周囲の方に支援を求める手段として活用するものです。



白を基調とし、上半分がピンク、マークが赤のカードです

ヘルプカードを身につけていることで、周りの人に配慮や手助けを頼みやすくなります。また、周りの人は、ヘルプカードを見れば、どんな支援が必要かが分かります。

ヘルプカードを配布します。11月から、障がい福祉課(市役所本庁舎1階)の窓口で、障がいのある方を対象に、ヘルプカード・ヘルプ手帳・ストラップ付ケースを配布します。日常生活や緊急時に支援が必要な方は、ご利用下さい。